

NTT ドコモ×沖縄 海洋ごみ問題と沖縄の海を守る取り組み「ウミガメの恩返し」発表イベントを開催 ウミガメ型海洋ごみ回収ドローンによる海洋ごみ回収の遠隔操作デモを実施

株式会社 NTT ドコモ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井伊基之）は、一般財団法人 沖縄美ら島財団の協力、沖縄県後援のもと、沖縄県の海洋ごみ問題に関する取り組みとして「ウミガメの恩返し」発表イベントを 2022 年 4 月 22 日（金）に開催いたしました。



特設サイト URL : https://www.docomo.ne.jp/special_contents/umigamenoongaeshi/

本取り組みは、沖縄をはじめ日本全国で深刻な問題となっている海洋ごみに注目した取り組みです。現在、海洋ごみによる被害は深刻で、生態系を含めた海洋生物にも影響を与えています。「次の世代まで美しい海を残したい」という想いで、沖縄の地元の方々が日々清掃活動を行っていることを受け、ドコモがもつアイデアや技術で少しでもその活動を支援し、広く知ってもらい一助となることはできないか、という背景から取り組みの実施にいたりしました。

今回、清掃活動を通じて集めた海洋ごみの一部を使い、ウミガメ型海洋ごみ回収ドローンの外装と、アート作品を沖縄の地元の方々と共に製作しました。ウミガメ型海洋ごみ回収ドローンは、ドコモのネットワークを使用しスマートフォンで映像を見ながら遠隔操作が可能となっています。清掃活動に協力したくてもできない方も、今後 5G 通信をはじめとしたさまざまな技術を活用することで、今まで叶わなかったことが実現できていく未来への期待を感じていただけることを目指しました。

本取り組みを通じて、沖縄の地元の方や、観光で沖縄を訪れる方々に、「沖縄の海」について考えてもらうこと、綺麗な海が汚され、海洋生物に影響を及ぼしているという事実、海洋ごみの現状に気付き、「自分ごと」として考え行動をおこすきっかけとなり、広がっていくことを目指しています。

■「ウミガメの恩返し」発表イベント概要

開催日時：2022年4月22日(金) 11:00～12:30

場所：美ら島自然学校（〒905-2262 沖縄県名護市嘉陽 41）

内容：

- ・NTTドコモ、任意ボランティア団体「ゴミがすべての始まりだった。」（通称：gomisube.）によるスピーチ、取り組み内容の説明
- ・遠隔操作可能なウミガメ型海洋ごみ回収ドローンを使った海洋ごみを回収するデモンストレーション
- ・アート作品紹介

<ウミガメ型海洋ごみ回収ドローンについて>

清掃活動を通じて集めた海洋ごみの一部を使い、ウミガメを模した海洋ドローンの外装を製作しました。集めたごみを破砕し、色を分けてプレスすることで各外装のパーツとして活用しています。

ウミガメ型海洋ごみ回収ドローンと空を飛ぶカモメ型ドローンの2点のカメラ映像をリアルタイムに確認しながら、スマートフォンで実際に遠隔操作を行い海洋ごみを回収することができます。

遠隔地から映像を見ながら操作が可能のため、高齢者や自由に活動ができない方など、海を守る活動に直接参加できない方も、参加が可能となります。



清掃活動で集まった海洋ごみ



破砕した海洋ごみ



海洋ごみを破砕しプレスして固めた外装



カモメ型ドローンでのごみ回収イメージ



ウミガメ型海洋ごみ回収ドローンでのごみ回収イメージ



遠隔操作イメージ図

<アート作品について>

清掃活動を通じて集めた海洋ごみの一部を使って、沖縄の地元の学生と清掃活動を行うボランティアの方々と共同で制作。「未来へ」というタイトルをつけ、お披露目しました。



制作模様①



制作模様②



完成したアート作品

アート作品は、美ら島自然学校で展示いたします。

展示場所：美ら島自然学校 教室B（〒905-2262 沖縄県名護市嘉陽 41）

アート作品展示期間：2022年4月22日（金）～9月4日（日） ※変更になる場合がございます

■NTTドコモの沖縄での取組み

これまでドコモは、奄美・沖縄を対象に世界自然遺産推進共同体の発足・推進への取り組みや、画像認識AIによる密猟密輸対策実証実験などに取り組んでまいりました。また、今年3月には水中ドローンを活用した「サンゴの生態調査」や「サンゴやウミガメの水中映像の配信」等に関する実証実験を開始しました。今後も、沖縄の環境や生物多様性の保全に取り組んでまいります。